

深まる地域の和

第3回屈足地域運動会



今年で3回目となった「屈足地域運動会」(実行委員会主催)が7月26日、屈足南小体育館で開催され、屈足地域の住民約150人が参加しました。

この日はあいにくの天気ですが、昨年引き続き体育館での開催となりましたが、参加者は大玉リレーやパン食い競争、玉入れなどの多彩な種目を4チームに分かれて楽しく競いました。

競技の合間には新得音頭保存会の皆さんと新得音頭を踊る場面も。

運動会終了後の屋台交流では、体育館の外で焼き鳥やうどん、フライドポテトなども提供され、参加者同士の交流を深めていました。



話題のアルバム

OBらも参加で賑やかにパレード

第52回新高祭あんどんパレード

新得高校(田中延和校長)の第52回新高祭「この瞬間に～It's show time」が7月11、12日の2日間にわたり開催されました。

1日目の夕方には、各クラスがこの日のために製作した行灯3基と、昨年引き続き今年も新得高校のOBらが行灯1基を製作し、全4基の行灯が市街地を練り歩き、アピール会場であるなごみ前駐車場を目指しました。アピール会場では、大勢の町民や保護者が集まり、生徒をお出迎え。生徒やOBらは、それぞれ製作した行灯や衣装をアピールし、観客からは拍手や歓声がわき起こっていました。



上の写真：行灯や衣装をアピールする高校生
左の写真：新得高校OBの行灯

まらの出来事をビッグアップ

図書館に親しんで

第3回図書館まつり

図書館に親しんでもらうことを目的とした恒例の「図書館まつり」が8月1日、町図書館で開催されました。

Eテレ「つくってあそぼう」の造形スタッフとして活躍し、全国で工作のワークショップを開催している造形作家の丸林佐和子さんを講師に迎え、幼児から大人までの約50人がカップドール作りや黒板作りを楽しみました。

黒板作りに参加した戎家麻紀さんは「切ったり、塗ったりがとても楽しかったのでこれから少しずつ大工道具を揃えてDIYに挑戦したい」と話していました。



駅前広場で一休みしませんか？

2015 駅前まるしえ

2015 駅前まるしえ(いらっしやいしんとく発見隊主催)が7月28日、駅前広場で開催されました。

新得に訪れる観光客のおもてなし、町民の休憩の場、そして、観光客と町民のふれあいの場として開催され、8月11日、25日にも開催される予定となっています。

店ではかりかち工房の小物、BEWILDのコーヒーやケーキ、ごりらのしっぽのカステラのほか、焼きとうきびなどが販売され、この日限定で販売された堆肥は、開店30分でほとんど売れてしまうほどの大人気。

いらっしやいしんとく発見隊の岡田元成隊長は、「のんびりとした一時を味わってもらえれば」と話していました。



「十分頂戴いたしました」

新得高校茶道部が児童館を訪問

新得高校茶道部の貴戸裕佳部長(3年生)ら部員5人と顧問の先生が7月22日、子どもセンターなかよしてお茶会を開き、児童29人が参加しました。

児童らは甘いお菓子を食べたあと茶道部員が点てたお茶で一服。

飲み終えたあとに部員に「もう一服いかがですか」と尋ねられると、児童らは「十分頂戴いたしました」と礼儀正しく受け答えしていました。

貴戸部長は「苦いと言われる時もありますけど、美味しいと言ってくれると嬉しい」と話していました。

セリフに頼らない人形劇に魅了

人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみ

人形劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」の「森と夜と世界の果てへの旅」の公演が7月22日、公民館で開催され約150人の観客が来場しました。

同人形劇団は「きこえないひと」と「きこえるひと」が一緒に作り上げていく、世界でたった一つの人形劇団で、障がいの有無に関わらず楽しめる人形劇を創っています。

この日も人形と人の体、生演奏、音声、手話、字幕、映像を駆使した表現で多くの観客を魅了していました。

